

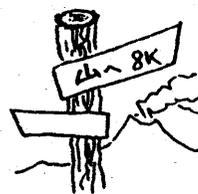
高退協ニュース

高知高退協
事務局
2000・7・18
No.105

高知県高等学校退職教職員協議会
〒780-0850 高知市丸の内2丁目11-10
TEL 088-1822-1682
016501211893

医療費補助や公平な助成を

高退協、互助会に要望



6月27日、高退協は県教委福利課をたずね互助会（理事長大崎博澄）に対し次のような要望書を提出し、その実現を要請しました。

- 一、サークル活動への助成にあたっては、退職者の諸活動を活性化と公平を期し、次の活動にも助成すること。
- ①スポーツサークルが使用する会場借り上げ料
- ②退職者サークルが発行する機関紙・誌の印刷費
- 二、高齢者の医療費を軽減するため、次の補助を行なうこと。

- ①70才をこえた特別会員にも医療費補助金の支給
 - ②ドック検診の補助
- また同様の要望書を退職互助部にも提出し協力を要請しました。要望の主な理由は

公平な助成を

サークル活動への助成は「退職互助部の活性化と会員の生活の充実」を目的としながら、現状は「会議室の借上料」に限られています。

健康増進のためにもスポーツクラブで使用する「会場借上料」や孤立しがちな退職者の交流をはかる「機関紙・誌の印刷費」にも、公平に助成することは、退職者の充実した生活をはかる互助会の趣旨に沿うものです。

高齢者に医療費補助を

現在の互助会の給付は、かつて高齢者の医療費が無料だった当時のままで、70才以上の会員には医療費の補助はありません。

したがって老人保健法等の改悪で医療費が増えた分だけ、自己負担が増えています。しかも政府は医療費の定率一割負担を導入して70才以上の負担を引き上げようとしており、年金の抑制や介護保険料の徴収とあいま

2000年度 夏季学習講座

日時	8月29日(火) 14:00~17:00
14:00	開会挨拶
14:10	「今、地中から習うもの」 宅間一之氏
15:20	小休止
15:30	「寺田寅彦と連句」 榊原忠彦氏
16:40	閉会
17:00	懇親会 参加の方は
	873-7123(古味)
	822-6778(中川)へご連絡を
場所	高知城ホール二階会議室

講師のことば

今、地中から習うもの

宅間 一之

日本列島では年間一万件を越す発掘調査が行われ、掘り出される膨大な史料の中に調査員は埋まっています。その発掘調査が、道路や住宅工場建設など開発行為による記録保持のための調査であり、史料を提供した遺跡はその日を限り消滅する運命のものです。しかしその消え去る遺跡が平野には歴史の定説を覆して消えるからたまりません。

調査の規模も研究の方法も随分と変化し、歴史の補助的学問であった考古学が今や歴史を変える史料提供の立場となりました。それには、生化学や生命科学、さらには宇宙工学に至るまでの多方面にわたる自然科学分野からのアプローチもあります。

いくつかの遺跡や遺物を中心に、今の考古学の話を追ってみたいと思います。

寺田寅彦と連句

榊原 忠彦

「寺田寅彦は多量の随筆を残したが、その時期を同じくして俳諧三昧に耽った風狂の人であった。『連句雑俎』『俳諧の本質的概論』という俳諧=連句についての見識が凝縮された力のこもる論文も発表している。そうした寅彦の連句の研究と実作の源泉は、漱石の文学活動の影響によるものと考えられ、師晩年の理想『則天去私』や芭蕉の風雅の誠を責めた精神を求めて大正九年、寅彦の療養生活の中から育成されていった。

以上を正編とし、続編に歌仙『雪の装』の巻の私流の評釈を加え記した。」

上記は「日本文学研究」第三十七号に発表した拙論の要旨をその後記へ載せたものです。

九十分内ではとてもお話できませんが、上記文脈中の一端を述べることで凡その全貌をご推察して頂ければと思っています。

草声老話

二十世紀最後の総選挙終わりました。自公保与党、議席数は安定多数ですが、四十%の得票率はきびしい審判です。野党軒並み議席伸ばす中、共産党後退、三十年余の山原議席バトントッチ成りませんでした。辛うじて若武者春名の四国比例議

一方です。

これを改善するため、70才以上の会員にも医療費の補助を給付し、すべての特別会員にドック検診の補助を行なうことが、老後の健康と安心を守るために大切になっています。

「前向きに検討」

高退協の要望に対して山崎福利課長は「現職会員の減少や低金利などで財源に困難はあるが検討したい」といい、とくに「医療費の補助については、財政の現状を精査したうえで前向きに検討したい」と語っていました。

高齢者への攻撃がきびしくなっている昨今、私達の声を互助会の運営に反映させることが大切になっていきます。



この三ヶ月の間、県体協会長問題が大きな話題でした。一般県民、あるいは他府県の人にとって、どうしても理解しがたいのが、問題の人物がなぜあそこまでの上がつて来たかということ。天下に恥をさらしたとも言える事件ですが、県民の世論の高まりの中、人事面だけは落ち着くべき所に行きそうです。

残念なのは、体協の重要な構成団体である学校体育連盟と、立場は異なりますが高校長会などにアクションが見られなかったことです。教育長、知事とも「教育の問題として由々しい」と繰り返し提起していたにも拘わらずです。

今後きちんとした役員体制を構成し、傘下の団体それぞれが、主体的、自主的な議論をするという自浄作用を持つことが県民の批判と期待に応える道でしょう。

蒸し暑い毎日、しかし雨少なく、数年ぶりに家庭菜園のトマト賞味できています。一方里芋は雨不足で先行き不安。従妹にももらった得体の知れないねばねば菜っ葉、勢いづいています。世の中のことに怒ったり、文句をつけつつ、植物と、動物（スポーツ仲間）を大事にと思っ毎日です。

アメリカの国立公園へ

数年前、「山の会」で海外旅行のアンケートを実施した。それによると、希望地の第一位は、ハイジの里・ドロミテ・チロル、第二位はアメリカの国立公園で、来年訪れる予定である。

「私の健康法」



水泳事はじめ

最近水泳を始めた。一番気を使うのは周りの人の肌に触れないようにすることである。異性に触れて興奮する年齢でもないが、性的いやがらせとか変態とか言われると世間体が悪い。綱と綱との間に二〇人ほどが縦一列になつて泳ぐ。男性は指導員と小生の二人である。折り返しでは芋をこねるが如し。先日指導員の指示で一斉に潜ったところ、大きな尻がごつんと私の腹部に体当たりしてきた。近視、乱視、老眼の混じったいつもの眼鏡をかけていないから男女を見分けることも困難である。胸に布がくっついていないのが女性で、ついていないのが男性である。

NHKテレビの「私の青空」の太陽くんの如く水中での呼吸の仕方から始める。

難しい。上に挙げた三大公園では半年前に予約が必要とのこと。二週間程度の日程なら三カ所位がやっつか。旅程を決める話し合いは喧嘩がくぐくなるやも知れぬ。

ここでは、個人的な希望を述べてみよう。まずはグラントキヤニオンである。それもコロラド川に降りる一泊二日の旅。テレビで見ているおおいに食指が動いている。次に体験してみたいのはイエローストーンの駅馬車ツアーである。ワイオミングの大平原、西部開拓時代の再現、夢がある。最後にもうひとつ、モニユメントバレーを見てみたい。かのジョン・フォードの「駅馬車」など数々の名作の舞台となったところ。子供の頃より西部劇で度々お目にかかっている懐かしの場所である。米本土は始めてである。「針の穴から鯨を覗く」ような旅になるかも知れないが、可能な限りもつともアメリカらしい自然に触れてみたいと思っている。

私は現職のころ夏は学校のプールで一日三百メートル泳ぐことにしていた。しかし、それは平泳ぎだけである。平で一生涯終わった。今回クロールを習い始めた。両足が沈んで前へ進まない。足をばたつかせても前進しない。手も足も力み過ぎて筋肉が固くなっているという。週三回を目標にしているが、実際はいろいろ用があつて二回である。いつになったらクロールができるようになるか全く見通しつかない。

健康の三原則に、快食、快便、快眠をあげた人がいる。水泳はその効果が大きい。水泳の後はご飯がすすみ、ぐっすり眠れて、朝はうんこがするすると出る。ビールもおいしくしてお腹が出るかも知れない。



意気盛んなり「幡多支部」

老若男女

40数名集う

去る六月三日(土)、現職の幡多支部総会の折り、退職者(13名)も共に集い盛大な懇親会となった。参加者は、篠田真武、戸田公子、吉松修夫、田所邦子、小野昭、市川幸輝、秋森巖、森岡幹雄、永野千恵、金子英治、木戸秀雄、長田哲翁、山下正寿の各氏。いずれも苦楽を共にしてきた仲間。語り飲むほどに、心と心が通い合い、明日への元気が湧き出る会であった。(本部より野島、浜田参加)

市民病院の署名

八月一日開始!!

県立中央病院はとも角として、市民病院までも何故池地区へ移転するのか、というところで始められた「市中心部に市民の病院を求め署名」は、総選挙との絡み(解散から投票日まで署名活動ができない)で遅れていきましたが、いよいよ八月一日に開始することになりました。

ここで「山原先生が去る六月二日の衆議院解散と同時に受任者になって下さったこと」を申し上げておきたいと思えます。今後の大まかな日程は次の通りです。
一、七月十四日、二十五日の間に市内各地で受任者(署名を集める方、高知市選管へ登録)の町別決起集会。
二、七月二十七日十二時十分、県庁前の木曜市で街頭決起集会、午後は市内を車で街宣。
三、八月一日、三十一日の間、署名活動に全力を挙げる。
四、九月五日、署名簿を回収、点検、整理して高知市選挙管理委員会へ提出。
五、提出すると市選管の審査(期間は二十日以内)。関係者への縦覧(七日間)。縦覧が終了と有効署名が最終確定。最終確定後五日以内に市長宛てに条例制定本

新加入者1名を迎える

今春、高退協に加入された方々は次の通りです。この結果、会員は過去最高の381名で、新年度をスタートすることになりました。

- 田村 勉夫 (高工定)
- 三谷 隆彦 (西)
- 森 敏之 (高知高)
- 三谷 速雄 (高知高)
- 松本 文彦 (北定)
- 清水 有 (海洋高)
- 大妻 紀俱 (佐川)
- 上田 初男 (窪川)
- 竹村 伸子 (大方)
- 森本 純子 (幡多農)
- 西尾 正 (幡多農)
- 松岡 幸 (幡多農)
- 野々下 栄一 (幡多農)
- 田所 昌澄 (小筑紫)

田村勉夫さんの住所が左記に変更になりました。

高知市種崎852-110
シーサイドハウスB17

請求。請求から二十日以内に条例審議の臨時市議会。

高退協会員の皆さん

一、受任者は現在約七百名(内、高退協会員四十一名)ですが、更に受任者を拡大中です。一人でも多く受任者になって署名を集めてください。

受任者になって下さる方は林(☎844-2035)にご連絡下さい(八月二十日最終)

二、受任者の方は、お暑い中、ご苦勞様ですができるだけ多くの署名集めをよろしく願います。
三、受任者になつていない方も、この運動を積極的にご支援、ご参加下さい。

四、受任者登録や署名は高知市の有権者に限られています。高知市以外の会員の方は高知市内の知人に声をかけて下さい。

よろしく願います。市民の健康と命を守る運動実行委員会 代表委員 林 勳

高退協ニュース

高知高退協
事務局
2000・5・16
No.104

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸ノ内2丁目1-10
TEL 088-818-2211
088-818-8822
088-818-8822
088-818-8822
088-818-8822
郵便振替口座 0166501211893

高退協総会を開く 新役員に上岡、三谷氏

5月6日、高知城ホールで32人が参加して高退協の総会が開かれ、全議案が原案通り承認され、役員が選出されました。

審議ではヤミ融資問題が論議をよびました。そこで明らかにされた同和行政と特定団体や暴力団との癒着は、県政の積年の暗部で、その抜本的な解決こそ県政刷新のカナメだと指摘されました。また暴力的な特定競技団体幹部によるつるし上げに新教育長が屈しなかつたことも報告され、論議は橋本県政の評価にまで及びました。

また「国家・国旗」を強制しないよう地域の学校に要請した活動や議会を傍聴することの大切さ、高知市の中央部に公立病院の機能を残す運動の現状が報告され、協力の要請が行われました。

最後に役員の選出が行われ、和岡、国松氏が退任、代って上岡、三谷氏を選出

退任にあたって

和田 明

高退協役員を五年間務めさせて頂きました。と言っても、会員の皆さんの励みになることは何一つ提起することもなく、ただ月一回の会に、なんとなく出たと

言ったところでした。今後、国民が主人公の社会をめざして、微力ながら努めたいと思います。後任は、

し、新年度の役員は次の通り承認されました。

- 会長 岡崎清恵
- 副会長 中岡鉄夫
- 事務局長 窪田一郎
- 常任委員 坂本敬子、南千加良、林 応子、山脇正照、古味忠男、西込 曠、中川正路、西田令子、塩田能子、上岡 積
- 監査委員 湯原 勲、横川哲郎、浜田昌俊、坪井幹之、窪田充治、竹島寛之、加藤 菊
- 顧問 " " " " " " " " " " " "
- 役選委員 " " " " " " " " " " " "

まさに高退協青年部（三谷上岡さん）が引き受けてくださったとのこと、安心です。ただ一つ、職美展も消えそうに心配です。再起を計りたいものです。

国松 勝

全く役に立つことができず心からお詫びをする次第です。

もう少し時間にゆとりが出来条件をととのえてお返しをしたいと思います。大変ご迷惑をおかけし心苦しく思っています。ありがとうございます。

新任あいさつ

上岡 積

人は年齢を問わず仲間がいて、共通の課題に向かつて歩むとき、生きがいを感じることができると思っています。その意味から言えば、現職のときより培われた組織活動に、健康・趣味などを満足させるクラブ活動が加わって、さらに充実した組織が高退協であり、年金・介護保険問題など高齢者を取り巻く諸問題に積極的

に取組むなど、他の組織の遠く及ばない素晴らしい組織体だと思えます。私は高退協に加入して三年になりますが、もっぱらクラブ活動に力を入れており、このすばらしい組織の執行部というにはいさしか力量不足です。しかし、さほど堅苦しく考えなくとも現職ではないのだ、皆さんそれぞれ忙しいのだから（私もさほど暇ではありませんが）、できる範囲で役割を果たせばいいだろうという気持ちで引き受けることにしました。本音を言えば「断りがたくて引き受けた」のですが、よろしくお願ひします。

三谷隆彦

お上にごまをするこの大嫌いな小生は、毎日小さな失敗を積み重ね、三十五年間にわたって大過を山積しました。これも諸先輩の指導にさからったからです。孔子は「六十にして耳順う」と言っています。これから高退協の新生として皆さんのお話を傾けます。どうか宜しくお願ひ申し上げます。

老声草

六月総選挙が予定されている。国会内の数の力を頼りに、自公保森内閣は国民無視の政治を続けている。こんなことは主権者である国民が許すことは出来ない。21世紀を希望の何としても、平和民主勢力を大きく勝利させねばならない。

自公保連合による「森しんきろう内閣」は日本丸の進路を破滅の道へと向かわせているのが実状。国と地方自治体の借金は六百四十五兆円。国民一人当たり五百十万円。利子だけでも、一日二百九十四億円、一分間で二千四十万円にもなっている。「大型公共投資五十兆円、社会保障二十兆円」という予算の仕組みの結果であることは明白。景気はいっこうに良くならず、失業者は三百四十九万人になつているにもかかわらず依然として大銀行大企業中心の政治を続け、リストラ、首切り、サーピス残業の容認。ルールなき資本主義政策に終始している。憲法調査会を発足させ、三五年内に憲法改悪を企み、有事法制を確立しようとするものである。

年金改悪で私たちの生涯年金から三百万円もカット。その上、不備な介護保険の導入、医療保険の改悪も控えている。こんな政治を許していたら私たちの生活はお先真っ暗である。何としても自公保政治をストップさせなくてはならない。比例定数の削減で厳しくなつた総選挙であるだけに、一層の奮闘が要請されている。今こそあらゆるつながりを活かして総選挙に勝利しよう。

（岡崎）

訃報

広瀬雄助先生が2月10日、藤本和子先生が4月23日

長期療養の後、ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

秦泉寺残日録 坪井 幹之

確定申告ごぼれ話
やや旧聞に属しますがこの二月の確定申告時のこと。
昨年の納税額63800円にたいし、今年の申告額は計算の結果25900円と出ました。この差額が気になり、

俳句

鏡村鏡湖公園 3月25日土曜



吉本伸秋
湖の上をころころ転げ来る初音
発掘の城址をいだき山笑ふ
中内みち代
無住寺の密けさ武蔵鍛鉄く
咲き満つる土佐水木の黄青き空
小笠原さちを

憲法改悪反対

5・3県民のつどい

高知城ホールに 二百六十名

憲法が危ない！世界に誇る日本国憲法を21世紀に輝かそうと、五月三日午前10時から12時30分まで、県民のつどいが、四階ホールをいっぱいにして開かれました。高退協からは、岡崎会長外16名が出席しました。

にしなればと反省しました。と、ニュースに投稿すべく書いてみました。腹の虫が納まりません。一晩考え抜いた末、近所に住む上田栄蔵さんに相談したところ、税金のことはやはり民商へと、早速紹介の労をとってくれました。再審査を請求できるの話で、早速、源泉徴収票の再交付を共済組合本部へ要請しました。ところが、数日後に送られてきた徴収票を見ると源泉徴収税額は0ではありませんか。そして摘要欄に年金特別減税額が記載されていました。すっかり忘れていましたが、昨年は特別減税の措置がとられ源泉徴収は見送られていたわけです。これで疑問は氷解しました。

冷静になって調べてみると、昨年と今年の所得税額を上記の特別減税を除いて比較すると約5000円の差です。この笑い話のような経緯の中で学んだことは、「源泉徴収制度が重税感のイチジクの葉」となっていることです。

まず、栗原筆頭代表者が主催者あいさつ、続いて山原代議士が国会情勢報告を兼ねたメッセージ。いよいよ記念講演に入り、神戸学院大学教授の木下智史先生が「21世紀の進路と日本国憲法」と題して、九〇分間の質問に回答されました。決意表明として、労働者、婦人、青年、教職員、退職教職員、山根さんの順で、平和憲法を擁護しようと呼び、アピールを満場の拍手で採択し、浦田宣昭代表委員の閉会あいさつで全日程を終了しました。



「寅彦と虎彦」 寺田寅彦賞受賞の 祝賀会

四月二十二日、グリーン会館で、高退協会員山本晶子さん等のお世話で開かれました。参会者五十名余、橋井、山田両氏の祝辞香り床しく、格調高いものでした。寅彦、虎彦からの心のこもったメッセージ、見事な朗読で紹介されました。当然のことながら、わが高退協メンバー多数、旧交を暖めることが出来、榊原氏「大いなるダン」と感謝の人多数だったのではないのでしょうか。あらためて、感ずることですが、榊原氏を含めて、三人彦「寅・虎・忠」、性格の共通性をこのほか感じます。「著作の上では、きちつと表出しながら、言動は後方に引いている」という感じとでもいいますか。榊原氏が両彦への一人の思いを抱くのは、ここらあたりから惹かれていたのではと思ったりもしたことでした。忠彦氏「寅彦研究」はまだ緒で、これからまたその意欲を示しておられます。万年純情先輩の今後、期して待つべきものと思うところです。

(一)

慶弔内規

- (1) 死亡見舞 10,000円
(2) 米寿の祝 10,000円
(3) 入院見舞 3,000円 (入院期間が1カ月以上にわたる場合、本人または家族よりの申請に基づいて適用)
(4) その他、事務局会議が必要と認めた場合 相当額
(5) 運用の細目については、その都度事務局会議で検討の上執行する
(6) 適用は1992年4月1日以降とする

＜お願い＞ 該当する方がおいでましたら、事務局までお知らせ下さい。

「私の健康法」

T・N 生

東洋医学には、三千年の歴史があり、西洋医学は三百年、それも外科と細菌の病気には強いが、その他の病気には極めて弱い。最近テレビとかラジオで、東洋医学に基づく健康法とか栄養食のことが放映され、東洋医学が見直されている。さてお灸とか鍼とかは、経穴(ツボ)にあたらぬとあまり効果が期待できない。それで最近の研究に基づき、人体に三百六十余ある経穴を確実に特定できる器具が開発されて市販されている。(キュウマスタ) これを使えば、だれでも確実にツボが特定できて治療効果を得ることが可能である。
経穴の本は、書店に行けば、手ごろの本があるので、研究すればどのような病気にどのツボが効くか、すぐに理解できる。
お灸はよく効くけれども、なかなか続かない、それで電子鍼が手軽である。これを使えば、何時でも、どこでも、簡単に自分で出来るので、続けることができる。それでもお灸が好きで、続けて出来る人は、お灸にこしたことはない。もぐさは米粒くらいの小さなのに、線香で火をつけ、チカツとばよい。なにもやけどをしなくても、十分に治療効果が得られる。お灸の数は症状により、一ヶ所に三ヶ、五ヶ、七ヶを施す。但し風呂や食事の前後は三十分ほど避けた方がよい。
東洋医学に基づく、鍼灸療法で、元気に長生き、いつまでも若々しく、楽しい人生を送りましょう。
経穴探知機(小型低周波治療器)キュウマスタ(DX・価格一八〇〇円・(株)総通フリーダイヤル(〇一)二〇一〇一三三〇〇)
家庭用電子鍼・価格二三〇〇円・(株)ビックアロー通販部・フリーホン・(〇七〇一八〇〇一三〇〇四〇〇)